

【地域での主な活動】

（1）気仙沼の高校生マイプロジェクトアワードへの参加

気仙沼市主催。気仙沼市内の高校生が、地域課題を解決するためのプロジェクトを大人の協力者（伴走者）とともに作成・実行し、その成果を市長や地域の方々に発表するプログラム。今年度は昨年同様新型コロナウイルス感染症拡大の影響で10月～12月までの3ヶ月間の活動となったが、過去最高となる28組29名の生徒が参加。気仙沼の魅力発信や地域振興、世代間交流などのマイプランを実践した。

（2）地域清掃活動

LHRの時間において、3年生は4月、1年生は9月に学校周辺や通学路などの清掃活動を実施した。地域の方と挨拶を交わしながら、お世話になっている地域をきれいにしようと、数年前の生徒総会で提案され、今も継続している活動である。

（3）震災語り部活動

東日本大震災遺構・伝承館とけせんぬま震災伝承ネットワークが毎月11日前後に実施している月命日「語り部活動」に、本校1・2年生9名が参加。来館者に震災の記憶と教訓を伝えている。3月～4月にかけて、「3.11メモリアルイベント2022」が実施予定であるが、これら生徒は実行委員として、企画運営の中心的役割を担っている。



マイプロジェクト発表会



校外清掃活動

【小中学校との主な交流】

（1）気仙沼中学校の探究活動を支援（R3.5）

気仙沼中学校が本校とビデオ通信システム「Zoom」で結び、探究型学習の授業を実施。本校3年生2名が参加し、自身が「課題研究Ⅰ」で手がけた研究についてそれぞれ発表し、テーマ設定の方法や手法など、探究の進め方についてもアドバイスを行った。

（2）気仙沼市防災フォーラムへの参加（R3.1）

気仙沼市と市教育委員会が主催、東北大学災害科学国際研究所と気仙沼ESD/RCE推進委員会が共催しているフォーラム。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催は中止となったが、代替行事として参加小・中・高校のオンライン交流会が行われ、パネルディスカッションにパネラーとして参加予定であった3年生1名、2年生1名の生徒が各学校に対し、自らの探究活動についての事例発表を行った。



気仙沼中学校の探究活動を支援



気仙沼市防災フォーラム
(代替行事)